



## みやかわ伸

一人ひとりが**主役!** 衆議院議員

一週間に二人の大臣が辞任しました。有権者に金品を配って当選する、そんな古い政治はもう止めるべきです。国民に寄り添った、国民のための政治が必要です。

大臣辞任後に世論調査が行われましたが、安倍政権の支持率は高いままです。安倍政権を支持すると答えた人の多くは、「他に適当なところがない」のが理由のようです。野党第一党としてこの結果を真摯に受け止め、国民に信頼されるように精一杯努力して参ります。

長期政権は必ず腐敗します。  
まっとうな政治を取り戻すために  
あなたの力が必要です!

# まっとうな政治を取り戻す!

## 英語民間試験の導入は延期に 高校生の勇気が政治を変えた



自分の身の丈に合わせて、、、  
初年度はいわば精度向上期間

大臣

10月31日、国会に高校生6人が集まりました。国会議員やマスコミがたくさんいる中で、勇気をもって発言してくれました。

「”サイレントマジョリティーは賛成です”という柴山前文科大臣のツイートを見て、立ち上がらなければと思った」

「”変じゃないか”と思っただけでは何も変わらないことがわかった」

高校生は「大人には任せられない」と思い立ち上がったのです。署名活動を行い、6日間で3万筆を超える署名が集まったそうです。この若い力が強大な政治権力を動かしました!

試験費用、会場の数、スピーキング試験などの採点基準が決まっていないなどの問題点は以前から指摘されていたことです。しっかりと対策を取らないで、見切り発車することは誤りです。子どもたちに平等な教育の機会を!

私たちは  
モルモットじゃない。

当事者の声



## ■「大学入学共通テスト」どうなるの？

二〇二二年一月から大学入試センター試験が大学入学共通テストに変わる予定です。今の高校二年生からです。

英語民間試験は延期になりました。

その理由の一つが「採点基準がいまい」な中で「アルバイト」が採点することです。

大学入学共通テストには新たに国語や数学の記述式試験が加わる予定です。国語試験の一例を左に示しましたが、

この解答をアルバイトがきちんと評価

できるかが問題となっています。また、生徒が正確に自己採点して大学選びができるかも疑問視されています。

知識ではなく、思考力や判断力を身に着けることは大切です。しかし、そういった力は授業の中で養うことが第一です。制度がきちんとできていない状態で、無理に試験を開始する必要はありません。高校生の立場に立って、しっかりとした制度を導入すべきです。

問3 「ビトの指差し」と指示語についても考えたまことさんは、次の資料を見つければ、傍線部指されたものが、話し手が示したものと同一視できないケースがあることを知った。まことさんは、「話し手が地図上の地点を指さす」行為もこのケースに当てはまることに気付いた。【文章Ⅰ】と【文章Ⅱ】に記された指差しの特徴から、なぜ同一視できないケース【2】でも「話し手が示したいものを理解できるのか」についての考えをまとめることにした。まことさんは、どのようにまとめたと考えられるか。後の(1)～(4)を満たすように書け。

### 【資料Ⅰ】

「話し手が何を指しているかを明確に示すには、「あれ」「これ」「それ」のような指示詞や、「あの」「この」「その」を伴う一般名詞を使って、いわゆる「指差し」のジェスチャーを伴わせるのが有効です。しかし現実には、そうやって指さされたものが、話し手が示したいものと同一視できないケースがいくつもあります。一つには、指さしによって示されたものが、それ自体、文字や写真など「何かを表すもの」である場合です。たとえば、レストランのメニューに載っている料理の名前、あるいは料理の写真を指さして「これにしよう」と言った場合、「これ」で指示されているのは指さしの直接の対象である文字や写真そのものではなく、文字や写真が表している料理です。

(川添愛「自動人形の城 人工知能の意図理解をめぐる物語」による)

(注) 1 指示詞——「指示語」のこと。

- (1) 二つの文に分けて、全体を八十文字以上、百二十文字以内で書くこと(句読点を含む)。
- (2) 一文目は、「話し手が地図上の地点を指さす」行為が指されたものが、話し手が示したいものと同一視できないケース【2】であることを、「資料Ⅰ」に示されたメニューの例に当てはめて書くこと。
- (3) 二文目は、聞き手が「話し手が示したいものを理解できる理由」について書くこと。ただし、話し手と聞き手が地図の読み方について共通の理解をもっているという前提は書かなくてよい。
- (4) 二文目は、「それが理解できるのは」で書き始め、「からである」という文末で結ぶこと。

## ■「日米FTA」どうなるの？

「日米双方にワイン・ワインとなる結論を得ることができました」と安倍総理は胸を張って発言していますが、本当でしょうか？

政府は「農業はTPPの水準を下回らず、特に米に関しては関税削減の対象から完全に除外できた」と説明しています。しかし、そもそも、TPPや日欧EPAによって、日本の農業は厳しい状況にあり、実際、食料自給率は三十七%と極めて低い水準に下がってしまいました。今回の日米FTAにより、更に日本の農家が苦しくなるのは明らかです。

一方で自動車の関税撤廃は先送りとなりました。いつ撤廃になるのかわかりません。安倍総理はトランプ大統領と約束したと言っていますが、口約束が本当に実行されるのか疑問です。本当に安倍総理が言っている通りの合意が得られているのであれば、しっかりと契約書に書き込むべきだったと思います。

この契約文で大丈夫？



### 【正式な契約書の文章】

Customs duties on automobile and auto parts will be subject to further negotiations with respect to the elimination of customs duties.

### 【政府の日本語訳】

自動車及び自動車部品の関税については、関税の撤廃に関して更に交渉する。

